

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公開番号】特開2015-110853(P2015-110853A)

【公開日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2015-039

【出願番号】特願2014-201740(P2014-201740)

【国際特許分類】

D 06 P 5/00 (2006.01)

D 06 P 5/20 (2006.01)

G 02 B 3/00 (2006.01)

【F I】

D 06 P 5/00 115 Z

D 06 P 5/00 D

D 06 P 5/20 D

G 02 B 3/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月27日(2017.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

染色用基体に付着された昇華性の染料を電磁波によって加熱し、前記染料を樹脂体に向けて昇華させることで前記樹脂体を染色する染色工程において使用される前記染色用基体であって、

シート状に形成された金属製のベースと、

少なくとも前記染料が付着される側の面の反対側に形成され、前記ベースに比べて高い電磁波吸収率を有する電磁波吸収層と

を備えたことを特徴とする染色用基体。

【請求項2】

請求項1に記載の染色用基体であって、

前記ベースの厚みが1μm以上1000μm以下であることを特徴とする染色用基体。

【請求項3】

請求項1または2に記載の染色用基体であって、

少なくとも前記染料が付着される側の面に、前記染料を保持する染料保持層を備えたことを特徴とする染色用基体。

【請求項4】

請求項3に記載の染色用基体であって、

前記染料保持層は親水性の高分子材料を含むことを特徴とする染色用基体。

【請求項5】

シート状に形成された金属製のベースと、前記ベースに比べて高い電磁波吸収率を有する電磁波吸収層とを備え、且つ昇華性の染料が付着された染色用基体を、前記染料が付着された面が樹脂体に対向するように真空中に配置する配置工程と、

前記配置工程において配置された前記染色用基体の前記電磁波吸収層に電磁波を照射することで、前記染料を加熱して前記樹脂体に向けて昇華させる蒸着工程と、

前記蒸着工程において前記染料が付着した前記樹脂体を加熱することで、前記樹脂体に前記染料を定着させる定着工程と、
を有することを特徴とする染色樹脂体の製造方法。

【請求項 6】

染色用基体に付着された昇華性の染料を電磁波によって加熱し、前記染料を樹脂体に向けて昇華させることで前記樹脂体を染色する染色工程において使用される前記染色用基体の製造方法であって、

シート状に形成された金属製のベースと、前記ベースの少なくとも一方の面側に形成され、前記ベースに比べて高い電磁波吸収率を有する電磁波吸収層とを既に備えた基体に対し、前記染料を含む染料層を形成する染料層形成工程を有し、

前記染料層形成工程では、少なくとも前記染料層の反対側の面に前記電磁波吸収層が位置するように前記染料層が形成されることを特徴とする染色用基体の製造方法。